

議会報告会報告書

平成27年2月12日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 石田 清廉

平成26年12月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成27年 2 月 3 日 (火) 19:00 ~ 20:30

2 開催場所

津布田会館

3 参加人数 (市民)

6 人

4 担当班議員名

(石田 清廉) (大井 淳一朗) (笹木 慶之) (杉本 保喜)
(中村 博行) (岡山 明) () ()

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 12月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (中村 博行) [司会] (笹木 慶之)

② 民生福祉常任委員会 (石田 清廉) [記録] (中村 博行)

③ 産業建設常任委員会 (大井 淳一朗) [受付] (岡山 明)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (杉本 保喜)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

〔民生福祉〕

- ① 廃棄物処理の条例改正について、どのように慎重審議をしたのか。

〔回 答〕

改正に至る経緯や背景、県内他市の料金体系の状況、持ち込まれるごみの内容について説明を受けた後、市民の意見等を問いかけながら審議した。

- ② 5日間のデータをもとにしたと言うが、それが慎重審査と言えるのか。

〔回 答〕

その点については指摘をした。条例は10年前のもので、この間のデータ、他市の状況も踏まえ、市民にどのような影響がでるかも含んで審議をした。

〔その他、全般〕

- ③ 本会議場で居眠り議員がいるが、議長も注意しないし、議会の側で何の罰則もない。市民でその罰則を作ってもいいがどうか。

〔回 答〕

議長も規則の範囲で行動しており、権限には限りがある。市民には見えないが、全員協議会で十分叱責、注意をしている。

- ④ 開かれた議会と言うなら、議員自らが居眠りなどの罰則を設け、文章化すべきではないか。

〔回 答〕

意見として、承る。

- ⑤ 早稲田大学、日経の議会改革度調査アンケートについて議員はその内容を知っているのか。ただ女性事務員が書いたと思われ、肝心な事項に記入がなかったりしている。政務活動費の公開、閲覧ができないとなっているがおかしい。

〔回 答〕

政務活動費については、会派ごと、無党派議員は個人で費目別にすべてホームページに掲載している。しかし、領収書の閲覧はできないかもしれない。また、早稲田、日経のアンケートは事務局が客観的な立場から書いて回答したものである。議会改革度には議員個人の資質に対する評価は含まれていない。市民への公開、一般質問の改善などが評価されたものと思う。今後とも努力していく。

- ⑥ 改革度アンケートの回答を議員は承知しておくべきではないか。

〔回 答〕

次のアンケートの際には、検討したい。

- ⑦ 請願も含め、給食センター計画の現状はどうなっているのか。

〔回 答〕

昨年3月議会で、センター建設を説明不十分でゼロ修正した。その際、教育委員会に8項目について、再検討するように提示をした。そのため請願を採決することが教育委員会に縛りがかかる懸念があるとの意見もあり、延び延

びになった。総務では請願の方向性を近日中に決定する予定である。センター建設については、1月26日の委員会で、教育委員会から8項目の改善策の説明があり、これから慎重な審議をすることになる。

- ⑧ 給食センター建設での議会が出した8項目の指摘事項の内容が知りたい。

〔回 答〕

8項目を読み上げる。（8項目は別紙）

- ⑨ センター建設の8項目は当初から厳しく指摘してきたもの。他の事業は経営改善などで対処できるが、子どもたちにとって重要なアレルギーや食育は取り返しがつかない。その当たりをどう考えて審査していくのか。

〔回 答〕

同様の心配を議員が共有して臨んでいる。協議会で教育委員会からの説明を受けた感じは、かなり発展的な改善のようで、光市と宇部市のセンターを視察したことも踏まえて審議していく。

- ⑩ 8項目の改善はどれも難しい。アレルギーについても教育委員会はすべてに対応すると言っているが、弁当の日が多くなると思う。できないことはできないとはっきり言ってほしい。合意形成にしてもできてないし、現場の声を聞いてほしい。

〔回 答〕

そういった意見があったと教育委員会に伝える。

〔別紙〕

給食センター建設に対する8つの指摘事項

- 1 米飯及びパン納入委託業者、食材等の納入小売店への説明不足。
市内業者育成・支援に逆行し民業圧迫。
- 2 食育に対する取り組みに疑問（栄養教諭2名に減）。
- 3 立地場所が危険ハザードマップ上であり、災害対応ができない。
- 4 給食事故や災害時における、2センター等のリスク分担を考慮すべき。
- 5 アレルギー対応について説明不足。
- 6 1センター方式に賛成の意見はほとんど無かった。学校給食のあり方検討会議で出された意見や、親子方式で実施することを求める請願等の意見において、市民との合意形成が十分とは言えない。
- 7 地産地消に対する計画性がまったく感じられない。農林水産課を含め、全庁的な取り組みをすべき。
- 8 2年前に出された基本計画と今回の基本計画との比較において、金額や配送時間に大きな差異があり、不信感を禁じえない。